

# あすなろ保育園 令和5年度事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

## 【一年間の総括】

新型コロナウイルスが5類に移行となり、感染状況に応じて少しずつ制限を緩和し、行事など職員で協議を重ね、安心な方法で昨年度より一步前進した形で行った。戸外ではもちろんだが、感染が落ちついている時などはマスクをはずすよう伝え、少しずつノーマスクを心掛けていった。実習生の受け入れや中学生のドリームアップ事業、蓬莱地区の幼保小中の交流会など、地域とのかかわりが再開されてきた。クッキング保育なども、感染対策をしつつもコロナ禍前に近づけるよう対応していった。令和4年度のような感染拡大は防げたものの、冬に向かって様々な感染症が流行し、行事の延期などを余儀なくされた。保護者の対応を見ながら安心な方法にて緩和して実施した。

## 1 質の高い保育内容と保育活動の展開(保育園の現状)

令和5年度のテーマ「あすなろ Evolution AKP40」(あすなろのキッズパワーで新たな進化を)と願いを込め保育活動を展開した。

### (1) 月別入所児童数および充足率(定員 60名) 令和6年3月31日

単位:人 / %

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
1・2歳児	18	18	18	18	18	18	19	19	19	19	19	19	222
3歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
4歳以上児	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336
合計	61	61	61	61	61	61	62	62	62	62	62	62	738
充足率 %	102	102	102	102	102	102	103	103	103	103	103	103	平均 103

### (2) 月別保育日数 令和6年3月31日

単位:日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	293

### (3) グループ別園児数 令和6年3月31日

単位:人

ほーる&へや	ほっとけーきの おへや	ぐりーんほーる		みみずくほーる		ぷりんのおへや		
		ちーた	しまりす	ばんび	ほにー	うさぎ	りす	ことり
年齢	5歳	4歳	3歳	2歳	1・2歳	1歳	1歳	0歳
男	6	6	5	2	1	3	4	2
女	9	7	7	3	4	1	2	1
合計	15	13	12	5	5	4	6	3

(4)園児地域別一覧 令和6年3月31日

単位:人

地域	人数	地域	人数	地域	人数	合計 62
1.蓬萊	20	6.伏拝	2	11.荒井	1	
2.松川	15	7.腰浜町	2	12.小倉寺	1	
3.黒岩	8	8.新浜町	2	13.太平寺	1	
4.田沢	3	9.鳥谷野	2	14.三河南町	1	
5.南向台	2	10.清水町	1	15.渡利	1	

蓬萊地区を中心に15の広範囲にわたっている。

〈卒園児15名〉

蓬萊小学校:2名／蓬萊東小学校:8名／松川小学校:2名／杉妻小学校:2名／  
附属小学校:1名

(5)延長保育促進事業

①延長保育 朝(6:55~8:00)

単位:延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
372	364	394	357	309	371	382	353	329	318	298	270	4,117

②延長保育 夕(19:00~19:30)

単位:延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27	20	17	19	23	14	13	16	18	17	22	24	230

11時間の標準保育以外の延長保育利用者数は、園児62名の内、毎朝20名ほど、8時30分には9割の園児が登園する。夕方のお迎えが早く、延長保育利用者(夕)は少ない。19時30分になっても迎えがこないケースもあり、19時30分以降にも保育園を閉めることができない状況がある。

2 保育環境の整備

- ・倒木事故防止のため、みどりのおへや・みはらしひろばの古木、虫食いの木の伐採。
- ・グリーンスライダー脇丸太の階段補修。
- ・LED誘導灯への取り換え工事。
- ・3歳未満児フロアの窓に飛散防止フィルムを貼り、より安全性の高い保育環境を整備。

3 食育活動を通しての子どもの健康管理推進

- ・クッキング保育の再開。
- ・園友会の食農体験「じゃがいも掘り・さつま芋掘り」に参加。
- ・畑で野菜の栽培や稲作などを通して、収穫の喜びや美味しさを味わう。

4 子育て支援拠点事業

(1)総括

支援センターの利用人数はコロナ禍の前年度に比べ、2倍以上となった。保育園で感染症が流行している時は利用者に伝え、判断はご家庭に任せるようにした。感染症への不安はあっても、支援センターを利用することで保育士に悩みなどを聞いてもらうことが気持ちの面で支えになるため、利用をする方が増えた。人数制限も、5組までとし、多い日は他の利用が少ない日を提示し、移動してもらうなど、密にはならないように調整し行う。地域の子育て親子を対象とし

た蓬萊学習センター主催の家庭教育学級“メダカの学校”で講師依頼を受けるなど地域に出向く支援活動も行った。

(2) 事業の内容

① 子育て親子の交流の場(どんぐりクラブ)

担当者のカリキュラムでの活動

園庭や支援センター“おむらいすのおへや”開放(どんぐりひろば)

② 専門の指導者を招聘して「リミック」を実施。(どんぐりやまセミナー)

③ 子育て相談(電話・面接) 相談内容はかなり複雑化している。

④ 小さな森の親子勉強会(専門指導員や園内の人材を活かして交通安全教室や音楽教室を実施)

5 一時預かり事業(ちょうちょクラブ)

単位:延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22	17	15	21	28	17	9	14	12	13	12	19	199

保育園に入園できない待機児(特に0・1歳児)の利用希望者が多い。

6 放課後児童健全育成事業(とんぼ学童クラブ)

単位:延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
954	896	992	868	740	774	826	726	675	643	663	667	9,424

個別対応の児童が多く、日々丁寧に関わっている。

学校との連携も重要になり、低学年担当教諭を中心に問題傾向の内容を話し合った。毎日利用する年契約だけでも41名おり、日割りを含めると73名の登録者数となる。4年生以上の利用が多く低学年が待機児にならないように努力が必要である。

7 家庭・地域・保育園が力を合わせてのネットワーク作り

月2回以上の園便り「あすなろっこ」と、支援センター便り「どんぐりひろば」を発行して地域に情報を発信した。地域の小中学校とも連携を深めるために、同様に「とんぼニュース」を学校宛に配布した。

また、養成校の依頼を受入れ、実習及び就職セミナー等、未来の専門職の育成にも寄与した。

8 インターネットのホームページによる情報の公開

毎月10日頃を目安に更新して最新の情報を提供した(アクセス数は現在31,735回/昨年度30,303回)。